



第20回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

平成30年8月25日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会

共催:長崎大学病院 外来・救急医療教育室

地域医療支援センター

シミュレーションセンター

救命救急センター

協力:日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生11名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター7名、アシスタントインストラクター4名)計13名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

また、スタッフは医師だけでなく、看護師、救命士、とコメディカルからの参加もあった。

※スタッフ詳細はP.4

<実施内容>

開催日時	平成30年8月25日（土） 9：20～17：00
受講者数	11名
対 象	初期研修医 11名
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

<スケジュール>

		グループ(1)	グループ(2)
09:00～09:20	0:20	受付	
09:20～09:30	0:10	オリエンテーション	
09:30～10:20	0:50	BLS+AED	モニター
10:20～10:30	0:10	休憩・移動	
10:30～11:20	0:50	気道管理	BLS+AED
11:20～11:30	0:10	休憩・移動	
11:30～12:20	0:50	モニター	気道管理
12:20～13:10	0:50	昼 食	
13:10～13:15	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:15～14:25	1:10	チーム蘇生	チーム蘇生
		VF/VT	VF/VT
14:25～14:35	0:10	休憩・移動	
14:35～15:20	0:45	non VF/VT	non VF/VT
15:20～15:35	0:15	休 憩	
15:35～16:35	1:00	メガコード	メガコード
16:35～16:45	0:10	移 動	
16:45～17:00	0:15	終了式・修了証授与式	

午前：BLS、気道管理

インストラクター： ○立石、山口（愛）、横山
アシスタント： 北山、伊豆野

午前：BLS、モニター

インストラクター： ○中岡、赤松、百木、湯川
アシスタント： 田中、中島

○は、ブースリーダー

午後：グループ1

○立石洋平、山口愛鈴、横山誠、北山素、中島美優

グループ2

○中岡賢治朗、赤松隼人、百木真吾、湯川恵美子、田中栄一、伊豆野梨花

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・以前よりも何をやるのか先を考えて行動できるようになったと思う
- ・判断と指示の大切さを学び行動したいと思った
- ・学生の時にやったことを思いだしさらに理解が深まった
- ・除細動の使用方法を知らなかったのが今日何回も自分で体験できてよかった
- ・CPAにたいして積極的に動きたいとより思うようになった
- ・リーダーの役割を経験したことがなかったので実習のCPRの際にはアシスタント側に回るが多かったが、これを機にリーダー側にまわれる気持ちができると思う
- ・判断を冷静に行えるようになれました。変われました。
- ・心停止している患者さんに対して、すぐに対応できるようになった
- ・実際の症例でBLSから検査、治療まで学ぶことができ実践力が少しいたと思います
- ・今回ICLS講習で急変時の対応に少し自信がもてました。ありがとうございました。
- ・1日お世話になりました。自分では気づけなかった部分にも指摘いただき勉強になることも多く充実した研修でした。
- ・丁寧な指導ありがとうございました
- ・1日楽しく受講できました
- ・失敗しても、はげまして下さったり、やる気が出ました。今日一日本当にありがとうございました
- ・シナリオを通じて実際に近い形で体験できたことは、とてもいい経験になりました。
- ・とても親切に、そして丁寧に教えて下さりありがとうございました
- ・自分は救急の初期対応が苦手でしたが、少しでも最初に何かできる事を増やせたと思います。有難うございました。充実した1日でした。
- ・今日は一日ありがとうございました。大変勉強になりました。ハリーコールなどで使うことができるようにしておきます。
- ・とても丁寧に教えて頂きありがとうございました。いろいろな場面での対応を学べて大変勉強になりました。

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・最初はふざけた感じのある人があったが、最後は真剣になっていた。
- ・考えながら良く動いていましたが、あまり楽しんでいる感はありませんでした
- ・集中している人も、そうでない人もいた。2
- ・積極的だったと思います2
- ・徐々に良くなった
- ・質問等あり、積極的だったと思います
- ・個人差があると感じました

2) 予備知識（予習含む）はどうだったか？

- ・2年目の人はBLSは身につけていた。
- ・勉強できていました2
- ・前回のコースの時より、勉強している人が多かった印象がある
- ・意外と予習していないなという印象2
- ・基礎知識があったと思います
- ・比較的あった
- ・BLSは特にあったと思います
- ・勉強してたのかな？と思いました。

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・教えるとなると少し自信がなかったことに気づきました
- ・内容と時間を見ながらやっていくのが難しかったです
- ・事前準備を行い参加した。当日の準備（機材の準備）も少し勉強しようと思います
- ・さらに勉強（指導のため）が必要だと思いました
- ・手順が分からず、不十分なところが多々ありました
- ・他の人とうまくコミュニケーションとれず反省しました
- ・BLSの時受講生の空気にもまれてしまったところがあった
- ・やる気を出させる、引き出す指導ができればと感じました
- ・補足の知識等分かりやすく話されていたので勉強になりました
- ・スムーズな進行で、ポイントをしっかり抑えるところがすごいと思いました
- ・インストはもちろんですが、知識教える技術など新たな手法も学べた。アシスタントはあくまでアシスタントというスタンスだった気がするので、もう少し事前準備もしてきてほしいかった

4) 今後について、ひとこと

- ・前回ですが、事前準備もしっかりしていただけるので当日とても助かります
- ・いつもありがとうございます。特に問題なかったと思います

●改善点●

- ・シミュレータの不調が目立った
- ・とてもスムーズでした
- ・準備等 色々して頂きありがとうございます

準備する資機材(3ブース)

資機材名	必要数	備考
ALSシミュレータ、操作用PC	3	
レサシアン	6	
バックバルブマスク	6	
AEDトレーナー	4	フィリップス
気道管理トレーナー	3	
モニター付き除細動器	3	単相性(予備) 1 二相性 2
気道管理ボックス	3	各ブースに1箱ずつ
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
口腔エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡ブレード(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	3	各ブースに1つずつ
ワゴン	3	
聴診器	3	
アルコール綿	多目	
ホワイトボード	4	
ホワイトボードマーカー4色	12	
ストップウォッチ	6	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



長崎大学病院 外来・救急医療教育室
地域医療支援センター、シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379